

# 退職者会ニュース

第2022-6号  
22年7月1日  
退職者会  
編集委員会  
3221-0052

## やっと開けた 退職者会総会

2022年度総会開催



庭園に臨む涵徳亭で、2年半ぶりに行われた総会風景



### 総会と後楽園 巡りをセツトで

コロナの感染拡大を受け中止・延期をしていた退職者会総会が6月17日(金)、文京区小石川後楽園内の涵徳亭で2年半ぶりに開催されました。今回の総会はコロナ感

染が減少しつつあるこの時期を逃さず、公園巡り、交流会併せて行いました。総会前の園内散策には9名が参加し、緑と水の庭園とハナショウブ、スイレンを鑑賞し、しばしの涼と日本庭園の美しさを楽しましました。

総会は午後2時より行い、18名の会員の出席と3団体の来賓の参加がありました。

来賓の千代田区職労桜井会計・書記からは、定年退職後の職員の雇用形態、新規加入組員状況などについて話されました。また争議団の支援、文化活動についても訴えがありました。

続いて2020年度、2021年度の活動報告、都退協活動報告、決算報告、会計監査報告が行われました。

2022年度活動方針では、会員の交流・親睦・学習を基本に、会員の生活と権利を守り、年金・医療など社会保障の改善に反対し諸要求実現に向

最初の挨拶に立った西本副会長は昨年12月に亡くなられた元会長、顧問の高橋鏡悦さん、会員の川崎廣二さん、山崎正男さん、小林介助さんの冥福を祈り参加者とともに黙とうを捧げました。

続いて西本副会長は、コロナ禍で通常の活動はできなかつたが、リモー

ト会議を取り入れるなど幹事会の持ち方を工夫、感染予防を徹底してできる範囲での駅から散歩・庭園巡りを行った。会員の交流と情報提供の場として困難の中ではあったが会ニュースの発行を続けました。二年半ぶりにこうして対面での総会が開けたことは大きな喜びと話しました。

「平和もくらしも壊す憲法改悪に反対する決議」も採択されました。今総会で山岸哲夫会長、寺山光秀副会長、高橋弘会計監事、前任幹事の水

「平和もくらしも壊す憲法改悪に反対する決議」も採択されました。

「平和もくらしも壊す憲法改悪に反対する決議」も採択されました。

「平和もくらしも壊す憲法改悪に反対する決議」も採択されました。

「平和もくらしも壊す憲法改悪に反対する決議」も採択されました。



いる中ニュース発行は大きな力、千代田退職者会ニュースは大変参考になっている。ロシアのウクライナ侵攻、日本政府の核兵器禁止条約への不参加、憲法改悪と軍拡を進めようとしていることなどにも触れ、本気で平和を守る取り組みを強めることが大切と話されました。

「平和もくらしも壊す憲法改悪に反対する決議」も採択されました。

「平和もくらしも壊す憲法改悪に反対する決議」も採択されました。



発言する加藤さんと始めて参加の豊田さん、近藤さん

### 2022年度退職者会役員

会長	藤本 佳男 (新)
副会長	櫻井 和恵 (新)
〃	西本 優 (再)
事務局長	服部 明 (再)
事務局次長	松浦 永司 (新)
会計	西本由起子 (再)
常任幹事	小路 啓子 (再)
〃	近藤 次子 (新)
〃	橋本 泉 (再)
〃	吉本 茂喜 (再)
会計監事	河西 治彦 (再)
〃	平山 茂 (新)
顧問	水上 末二 (新)
〃	山岸 哲夫 (新)
〃	渡辺 卓治 (再)
相談役	留場 正光

# 退職者会 総会にて 参加して

今年3月に再任用を終えられたばかりの豊田さんと、総会常連の渡辺さんから、感想が寄せられました。

## 初めて参加して

豊田 浩

知人がいるとはいえ、はじめの者には総会出席はハードルが高く感じられました。総会だけでなく、庭園内散策、懇親会もあり、これならと出席を決めました。

毎年六月は水元公園はじめたくさんの花菖蒲を愛でに出かけています。ここ後



総会前、小石川後楽園を巡る

楽園で今年最後の花菖蒲を観賞することができ感謝するとともに、退職者会の役員の皆様に感謝です。入園に際してはシルバー割引を受け、高齢者であることを実感しました。

3年振りの総会、退職者会の熱い思いが心に響きました。旧知の方々や語りあつた懇親会と、充実した一日となりました。退職者会にはいつて第二の人生に張り合いがでたことも事実です。

いまだ野球、登山、ランニング、自転車等の活動に忙しく、積極的に退職者会の活動参加は難しいのが現状です。無理せず自然体でやっていきます。今後ともよろしく願います。

## 感謝でいっぱい

渡辺 富子

私は総会に出ると感謝と感激でいっぱいになるのが常だ。今回もそうだった。準備、進行、会計、監査報告など役員の人々は病を押し、家族の世話をやりくり執行してくれた。

そして今年も元気に会員の皆さんにお会い出来た。親睦交流、平和を守る活動等も決まってよかったし、良い総会だった。少々密になりましたね。

今年退任された寺山さんはよく総会の司会を務められていました。大きな集会で何回もお会いして、私はずいぶん励まされました。淋しいけど、ありがとうございました。

# 高齢者の医療環境が危ない！

## 75歳以上の医療費窓口負担2倍化

### 10月実施を中止させよう

75歳以上の医療費の窓口負担を2倍にする理由として政府は、現役世代の負担軽減のため、としています。しかし、現役世代の保険料の軽減は、一人年間700円で、本人負担はその半額の350円に過ぎないとの試算が出ています。

一方、公費の支出は980億円減り、これが最大の負担軽減となっています。腹立たしいのは、「受診行動の変化」という表現で、必要な受診がどれだけ減るかを試算していることです。試算では、受診控えによって減る医療費給付は年間約1000億円にもなります。

口では必要な受診が控えられないことにはならない、などと言いつつ、実際は受診が減ることを想定しているという、卑劣な政治がまかり通っているのです。受診を躊躇し重症化すれば高齢者の命は危うくなり、かかる医療費も高つくことになって、かえって医療費給

付は増えることになるでしょう。

## 保険証廃止の愚策を検証する

### マイナンバーカードで不便に…

6月7日の閣議で政府は、「骨太の方針」を決めました。その中で健康保険証に代わってマイナンバーカードを使うようにし、保険証は原則廃止していく、としています。しかし、保険証を廃止すれば、様々な不便や負担が増します。受診した際、保険証は月に1回病院の窓口に出せば済みますが、マイナンバーカードは受診のたびに、機会に読み取らせ、本人確認などしなければなりません。顔認証か暗証番号の入力が必要で、高齢者には面倒な作業です。

現在、保険証は自治体から郵送されており、役所に行く必要はありません。マイナンバーカードは、5年に1回電子証明書更新に役所に行く必要はありません。また、10年ごとにカード自体の更新も必要です。カードの更新は簡単ではありません。手間も時間もかかります。

大きな問題は、カードの期限が切れたら保険資格があるのに、保険での受診ができなくなることです。紛失や交換の期間には医者にかかれない、そんな心配も出てきます。

やはり一番の問題は、カードを常に携帯する必要が出てきて、紛失や盗難が避けられないことです。今後多くの個人情報内蔵することになれば、高齢者はカードの管理に神経を使いつつなしになり、それで体調をくずすという笑い話も現実になるかもしれません。



カードは、5年

# 総会で就・退任した役員のあいさつ

## 会員のみなさんと共に

新会長 藤本 佳男

総会で新会長に選出された藤本です。私は9年前に定年し、後に5年間再雇用で職場に居ました。退職者会では新参加者です。



今、年金の削減や後期高齢者の医療費自己負担が7割から2割へ倍化されるなど、高齢者への負担が多くなっています。私たち高齢者は黙って居ません。会員のみなさんと共に闘って行きたいと思っています。

この間、コロナで町歩き等のレクリエーションも少なくなりました。コロナの収束を待つて、以前のように旅行会などの行事も積極的に行って行きたいと思っています。未熟者ですが、ヤル気は満ちていますので、よろしくお願ひします。

## 会のますますの活性化を

前会長 山岸 哲夫

2020年7月の総会の直後に新型コロナウイルスが国内に蔓延し、以後の2年半総会を開けず、残念ながら会自体が活動を縮小せざるを得ない状況でした。私もコロナで動けないので今回で会長退任させていただくことになりました。

コロナの2年間で、特に今までよりさらにはつきりしたことがあります。現在の政権下で行っていることが憲法からいってもはずれていることです。主権者である国民の命を重要視せず医療、福祉関係の合理化を進め、また年金を下げ、高齢者医療費を上げる、許せないことです。

これからの会のますますの活性化を願っています。

私はこのたび、総会で幹事を退任することになりました。高齢になり、体力的にも限界を感じています。役員案では、山岸会長と私が顧問に推薦されました。謹んで受けることにしました。

渡辺卓治さんと山岸哲夫さん、水上末二の三人の顧問で退職者会のお役に立つことができたなら、こんなふう

## 顧問として引き続き一緒に

元会長・前幹事 水上 末二



れしく思っております。今後ますます発展させますよう心から願っています。

ありません。退職者会の発展に頑張りたいと思います。また、みなさんと末永くお付き合いさせていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

退任にあたり、もう一つお礼を述べさせていただきます。私が退職者会の会長を

務めていた時期もありました。会員のみなさん、幹事のみなさん、暖かく支えていただきました。改めてお礼を申し上げます。共に行動でき、ありがとうございました。思い出となりました。

退職者会は若い方々に引き継がれており、大変うれしく思っております。

2003年3月7日(金)区職労主催の送別会を四ツ谷駅前スクワール麹町で開催してくれました。

## 楽しい退職者会に

前副会長 寺山 光秀

私はこの年の3月末日で定年退職しました。退職するや体育館の御大(吉木氏)から誘われ

大変お世話になりました。ありがとうございます。私もおもてなしの心で、おかげさまで楽しい退職者会になりました。今年で会員歴早やつの年になりました。

平成37年7月の総会で副会長に選任されましたが、たった3年で副会長を退任することになりました。今回の退任は私

雑ばくな退任挨拶で申し訳ございませんでしたが、これからの退職者会には、藤本新会長のもとで楽しい退職者会にして下さい。長い間、本当にありがとうございました。



## 平和と人権がポイント

橋本 泉

今回の参議院選挙は、平和と人権を守ることをポイントに考えたいと思っています。

先日参加した憲法カフェで、若い女性の弁護士さんのDVDを視聴しました。そこで印象に残ったのは、「人権保障に手厚い国は紛争を起こしにくい、戦争をしにくい国である。国民が人権制約されることを防ごうとする。そういう国は自国民の命だけでなく、相手国の命や人権も守ろうとするから。」

例えば社会的弱者やマイノリティの人達が大事にされ、ジェンダー平等や多様性をきちんと認めるような国は、最大最悪の人権侵害である戦争という発想は持たないのだと納得でした。

人権を守る政策を掲げているかよく見極めたいです。



## 9条を守り、温暖化対策を

西本 優

一つは軍拡か平和外交かが大きく問われる選挙だと思います。ウクライナ侵攻を口実に自民党、維新の会は「憲法9条では国を守ることはできない」として自衛隊を明記する改憲と大軍拡を進めようとしています。自衛隊が憲法に明記されれば、憲法9条は死文化し、歯止めのない軍拡と武力行使が可能となるでしょう。日本が敵基地攻撃能力を保有し、核共有を実施し軍事力を倍増させることは、必然的に周辺国の疑心暗鬼を招き他国も軍事力を増強することにつながります。

軍事力に頼る抑止論は、果てしない軍拡の応酬と相互不信を生み軍事衝突の危険を逆に増すことになるでしょう。また、GDP比2%への軍事費増大は、福祉予算の削減や消費税の大増税、あるいは国債の乱発を意味し、コロナ禍で痛めつけられた国民生活をさらに苦しめることになるでしょう。戦後一人の戦死者も出さなかったのは憲法9条があったからだということを私たちは知っています。人を殺す武器ではなく人を守る「憲法」という武器を生かした積極外交を求めていきたいと思っています。

二つ目に挙げたいのは気候変動（温暖化対策）も待ったなしであり参議院選挙の争点と考えます。

国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の報告では、地球の平均気温上昇を産業革命前から1.5度に抑えるためには、2025年までに温室効果ガスを増加から減少に転じさせることが必要だと強調されています。あと3年しかありません。昨今の異常気象をみれば気候危機が迫っているのを肌で感じる人も少なくないでしょう。

ロシアのウクライナ侵略によって世界の温暖化対策に遅れがでている事実がありますが、化石燃料依存からの脱却などに今後どうとりくむのかは子どもたちや孫たちの将来を左右する課題といっても過言ではありません。

## 特集 参議院選挙の争点は何？

# 私はこう考える

参議院選挙は7月10日が投票日です。退職者会では、会員のみなさんの大事な1票が、私たちの暮らしをより良いものとする貴重な1票となることを願って、この特集を組みました。

## いざ、投票所へ

松浦 永司

まもなく参議院選挙の投票日です。メディアやSNSでは参院選は争点が乏しく新型コロナ禍も落ち着いてきたとして、自公与党の圧勝ではないかと言われてきました。

しかし、ウクライナ戦争の戦火が止まらず、岸田政権はこれに乗じて敵基地攻撃能力や防衛費の倍増をもくろむなど、憲法をないがしろにした言説を吹聴しています。また、激しい円安となり物価も次々に上がるのに30年近くも賃金が上がらない状況に国民の生活が脅かされる事態となっています。

そして、当初、自公絶対優勢だったものが、今は物価問題を中心に経済政策に注目が集まり、自公政権の無能ぶりが露呈し自公の優勢が揺さぶられています。野党は消費税減税を訴えていますが、岸田政権はかたくなにこれを拒否しています。最近の各種メディアの世論調査でも、岸田政権の経済政策に不満を持つ割合は圧倒的に大きくなっています。参議院選挙ではこの経済政策を争点に、野党が優勢となる可能性も出てきました。



先月行われた杉並区長選挙では、現職の区長が当選するだろうという大方の予想に反して、市民団体や野党が推した候補者が当選しました。候補者本人の能力や頑張りが結果となったことは言うまでもありませんが、もう一つ大きな要素がありました。それは投票率が前回の区長選に比べて5%以上も上がっていたのです。5%という数字が大きな力を発揮したことは間違いありません。

どうせ投票しても何も変わらないといって棄権するか、とにかく投票してみるか、で選挙結果を大きく左右するのです。

年金の無体な減額や医療費の値上げを阻止するためにも、私たち退職者会会員は一人残らず投票所に出向き「とにかく投票」することにしましょう。結果は私たち自身にかかっているのです。

日本では再生可能エネルギーの潜在量が環境省の試算でも電力需要の5倍もあると述べられているのに、政府は再エネより原発を優先して動かし、石炭火力発電への依存も続いたままです。太陽光や風力発電を最大限に生かすには、揚水発電や蓄電池の整備とともに、余った電力を電力の消費地である大都市圏へ融通するための「連系線」の整備が重要ですが対策は遅れたままです。

化石燃料頼みから再エネの大量導入へと転換し、わずか10%程度しかない日本のエネルギー自給率を引き上げる。そんな政治の転換を求めたいと思います。

憲法改憲  
STOP!

## 年金で暮らせる社会を

西本 由起子

年金を全額支給される様になりました。少し前までは、60歳になったら年金が全額支給され、それまで仕事で出来なかった事をやりたいと思っていました。

幸いな事に夫も元気ですので食べていくには、困りませんが。数多く来る税金の納付書、手元に残った年金を見比べ、1回くらいは旅行に行けるかな？

あれこれの買い替えも検討しなくては、と思ひ悩みます。

それなのに年金を支給されている事が、現役世代に負担をかけているなどと負目の様にいわれたり、分断につかわれたり悲しいですね。腹が立ちます。

私達だって現役の時はお金を支えて来ました。

国民と国が皆んなで支え合って豊かに暮らしていける世を作りたいですね。私は、そういう政党に投票します。



## 戦争への道にノーを

服部 明

今度の参議院選挙は、日本の将来が「戦争か平和か」を問うことになると思います。なんて大げさな、と思われませんか？でも今、日本の防衛のためには大軍拡が必要だという議論が起きています。そして、敵の攻撃



から守るためには「専守防衛」では守れない、「敵基地攻撃」も辞さない構えが必要だということです。そのためには防衛費を今の2倍（11兆円）にするんだという。

ちょっと待ってください。敵基地を攻撃するという事は、必然的に敵よりも早く先制攻撃をかける、ということになります。相手も黙っていないわけで、双方が相手よりも早く攻撃を仕掛ける、戦争には100m競争のように、フライングは失格というルールはないので、相手より早く攻撃する方が勝ちです。旧日本軍が実際に真珠湾でやったような奇襲合戦となることは必定です。

われわれ国民には戦争に関する情報は一切伏せられますから、平和な日常生活の上に、いつミサイルが飛んでくるか分からないという状況を覚悟しなければなりません。こんな危険な日常を是とできますか。実際に始まったら、多くの人命を失い街は破壊されます。

退職者会は、活動方針の実践で高齢者の暮らしを守り、平和な社会をつくるために頑張る決意を固めたばかりです。今度の参院選は、そうした要求・課題を実現するうえで貴重な機会です。方針実践の立場で、会員のみなさんに積極的な投票を呼びかけるものです。仮に支持した候補が当選しなかったとしても、示された一人一人の意思は政治を変える力を持っていると確信します。

## 絶好のチャンス

水上 末二

私たち退職者を取り巻く情勢は大変厳しくなっており、物価高、年金削減、10月からの医療費負担の二倍化など、高齢者いじめがさらに進められようとしています。低年金者はどうやって生きていけば良いのでしょうか。心配でなりません。

社会保障の充実は待たなしに必要です。アメリカ言いなり、大企業中心の政治ではなく、国民の暮らしをよくする政治に改めていきましょう。

退職者会や上部団体に連帯し、運動を大きく広げ、何としても政治を変えたいです。参議院選挙は「絶好のチャンス」という思いを新たにしています。



## 安心して暮らせるように

小路 啓子

経済(物価)や高齢者の社会保障の事など切実に感じています。

持続化給付金の詐欺事件...、本当に困っている人達に行き渡らないのが現実。

詐欺事件も氷山の一角だと思いました。

政策を見極め、選挙には必ず行きます。

国民みんなが、安心して暮らせる社会になるよう期待しながら。

防衛力を強化するのは戦争をするためではなく「抑止」するためだといひます。こんな詭弁は通用しません。一方が防衛力を強化したら相手も強化します。「抑止」という名の防衛力の際限のない拡大競争になりす。忘れてはいけないのは、「使わない」と明言しての「抑止」はありえないということです。「使う」ことを前提としてこそその「抑止」なのですから。

私は、防衛力の拡大強化、敵基地攻撃能力の保有、核の共有、こうした主張に断固反対です。専守防衛に徹した最小限度の軍備と、他国を攻撃しないことの宣言、その上で外交に徹する、こうした姿勢を支持します。戦争につながる動きは「ノー」です。今度の選挙で、戦争への道を断固拒否して、平和への道を確立しましょう。



退職者会には訴えます

退職者会は、6月17日に開催した総会で、今年の活動方針を決めました。その方針には、「医療、年金、社会保障制度改善に反対」「高齢者いじめの諸施策に反対」「原発ゼロと再生エネルギーへの転換」

「敵基地攻撃能力や核共有など日本を戦争に巻き込む危険な動きや憲法改悪の企てに反対」などが明記されています。特に今、物価高騰下での年金の削減、医療費の窓口負担の2倍化、大軍拡と憲法9条の改悪など、暮らしと平和を壊しかねない動きが急迫しています。

6月15日は腹の立つ日だったよ。確かに…。いつもは浮き浮きする15日なのに、今回ほどがっかりした気分になったことはない。年に1万円近く減ることになった。

物価は2%も上がっているのに年金は0・4%の減だった。なぜだい？

それは退職者会ニュースに出ていた通りだろ。安倍政権時代に作った「年金カット法」だよ。物価がいくら上がっても賃金が下がったら、賃金に合わせるというやつだよ。

75歳以上の医療費の窓口負担も10月から2倍になると言われているね。ここへきて年寄りへの仕打ちは酷すぎる。まるで社会の邪魔者扱いだ。ところで、物価高はまだ続くのかい。

うん、収まる気配はないな。政府やマスコミは物価高の原因はウクライナの戦争にあるかのように言っているがそうじゃあない。

と言うと…

政府の失政だ。根源はアベノミクスだよ。日銀総裁の首をすげ替えてまで「異次元金融緩和」をやった。そのついでが回ってきたわけだ。

ああ、白川氏を辞めさせて黒田氏を据えた人事だね。やはり、白を黒にしたのがまずかったか。

おいおい、そんな次元の話じゃないよ。アメリカはじめ世界の主要国が金利を上げているのに、日本だけが低金利を続けている。その結果円

### 松とテツ

#### どうしてくれるこの物価高

は急落し、1ドル135円台まで値を下げているね。この円安こそが物価値上がりの原因だ。

でも、岸田首相はアベノミクスを引き継ぐと言っているぜ。それに黒田総裁は国民は物価高を許容していると言った。

ああ、自分の失政を覆い隠すために国民の支持があるかのように装いたかっただけだ。国民生活の安定を使命とする日銀総裁が、庶民の実生活も国民感情もまったく知らないなんて即刻首だよ。

岸田首相も「物価高の水準は相対的に低い」なんてうそふいているそ

うじゃない。

ある閣僚は、物価高は新聞やテレビで知っている、と言ってひんしゆくを買ったな。とにかく、国民の苦しみが全く分かつちやいな

だから、岸田も物価対策を「やるやる」と口先だけで、有効な手は何にも打とうとしないんだな。

消費税減税を求める声もあるが、茂木自民党幹事長に至っては「消費税下げると年金は3割カットだ」などと恫喝し、不評を買っている。

ところで、物価高のほかに国民生活を危機に陥れる問題があるよ。分かつている。軍事費だろ。

その通り。ある人から週刊誌「女性自身」を読んでみる、と勧められ



て買ってきた。いい爺さんがちよつと恥ずかしかったが。

何が出ていたんだい。

政府が「骨太の方針」でうたっている軍事費を今の2倍の1・1兆円規模にして軍備を増強するという話なんだが、「女性自身」が紹介している「暮らしと経済研究室」主宰の山家悠紀夫さんによると、この財源を年金、医療、福祉など社会保障費から捻出しようとしているというんだ。

防衛費を増額する5兆円分をそのまま医療費に換算すれば、医療費の窓口負担3割の人が6割負担になる、年金受給額も5兆円分をそのまま充てれば、現在約4000万人の受給者の年金が年12万円減額。かりに増税が必要、といった具合だよ。

うーん、岸田首相が防衛費増額の財源をどうするか問われ、答弁をかたくなに拒んでる裏には、こういう

思惑が確かにあるな。

軍備増強で国を守る前に、国民生活の安心・安全は壊れてしまうよ。

国民生活の安全保障こそやってほしいな。



本土寺の菖蒲 土屋喜代子さん

### 簡単レシピ



- ☆ そこに小麦粉を入れてまぶします。しそ全体に白っぽくなるくらいまぶします。
- ☆ フライパンに胡麻油を入れて強火で熱したところへしそを入れます。しそはフライパン全体に広げます。
- ☆ しそが、ペッタンとなったら火を少し弱めます。
- ☆ 焼き色がついたらひっくりかえます。
- ☆ 両面焼き色がついたら出来上がりです。
- 紅生姜と一緒に混ぜて焼いたり、ポン酢をつけて食べても美味しいです。
- じゃこの量は好みですが、味付けはじゃこだけなので、30gぐらいいは入れても大丈夫です。

「脳トレ」と「東京近郊花巡り」はお休みします。

### 青じそとじゃこのチヂミ

- 青じそが身近にあったら作ってみてください。
- ☆ 材料は、青じその葉・じゃこ・小麦粉・胡麻油
- ☆ 青じその葉は、硬くなったり、色が黒っぽくなってしまった方がいいです。たくさんあった方がいいですね。
- ☆ 洗って水は、切らずに縦半分にしてからざく切りします。
- ☆ 大きめのボールに入れて、手でしそをほくしてからじゃこを入れます。じゃこも混ぜておきます。